

情報提供日	令和3年(2021年)4月7日(水)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 在岡、濱谷 栽培・展示課 山本、高井 TEL 082-922-3600

江戸の園芸文化を今に伝える サクラソウ展を開催

展示会名：サクラソウ展
開催場所：広島市植物公園 屋外展示場
開催期間：令和3年4月10日(土)～4月21日(水)
開催時間：午前9時～午後4時30分(最終日は午後3時30分まで)
展示概要：江戸時代から伝えられている貴重な園芸品種をはじめ、全国から集められた野生種とあわせて約200点を展示します。また、里山の野草園では池の周辺にて、日本各地のサクラソウを展示・紹介します。

江戸時代から人々を楽しませてきた、さまざまな花色や花形の変化に注目しながら、サクラソウをご覧ください。



江戸の園芸事情を解説するパネルとともに展示



サクラソウ「日の丸」

サクラソウとは？
 サクラソウ(学名: *Primula sieboldii*)は、中国大陸東北部から朝鮮半島、日本にかけての冷涼な湿原に生える多年草で、ヨーロッパ原産のセイヨウサクラソウや中国原産のマラコイデス、オブコニカと区別するため、ニホンサクラソウ(日本桜草)とも言われます。江戸時代に栽培が非常に盛んになり、日本の古典園芸植物を代表する存在の一つです。自生のものでは、埼玉県さいたま市桜区田島ヶ原のサクラソウの大群落が国の特別天然記念物に指定されて、大切に保護されています。



うらら池ほとりのサクラソウ
自生地の様子を再現

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日